

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 エゼキエル 16:8 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 25番
- *交読文 …………… 41番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 179番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 89番
- 聖餐式…………… 281番
- メッセージ …………… 愛の故に肉を裂き血潮を流して下さったイエス様(黙示録 21:1-4)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …………… 87番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

_____が祝福する祝福の杯、それはキリストの血にあずかることではないか。_____がさくパン、それはキリストのからだにあずかることではないか。パンが一つであるから、_____は多くいても、一つのからだなのである。みんなの者が一つのパンを共にいただくからである。(1コリント 10:17)

よくよく言うておく。人の子の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、_____の内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む_____には、永遠の命があり、わたしはその人を終りの日によみがえらせるであろう。わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物である。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む_____はわたしにおり、わたしもまたその人におる。生ける父がわたしをつかわされ、また、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる_____もわたしによって生きるであろう。…このパンを食べる_____は、いつまでも生きる。(ヨハネ 6:53-58)

普段の主日は聖書人物から、最近ではダビデからメッセージを頂いているが、本日聖餐礼拝は、特に、主イエス様がなぜ天から降りて来られ、十字架で死に、復活して下さったのか、その基本を今一度学びたい。イエス様は何故、十字架でいのちを投げ出されたか。それは私達が犯してしまった罪の結実である「死」の負債を、私達に代わって支払うため、そして私達人間が、キリストに代わって永遠のいのちを得るためだ。それは一方的な恵みであり、ただ私達を愛する愛の故である。主はなぜこれ程、私達を愛されるのか。それは、神が男と女とを創造され、結婚を制定された所の聖書の箇所から、垣間見る事が出来る。

神は人を、ご自身のかたちに創造され、男と女とに創造された。この世界の全ての物事は、天にある実体の写しであるが(ヘブル 8:5)、男と女、夫と妻の有様も、「キリストと教会」という実体の写しである。男はなぜ、女を愛するものなのか。それは、男と女とは元々、「一つ肉」だったからである。『「これこそ、ついにわたしの骨の骨、わたしの肉の肉。男から取ったものだから、これを女と名づけよう。それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体(一つ肉)となるのである。』(創世記 2:23-24) この奥義は偉大である。主はご自分を愛し従う人達、すなわち教会を、キリストの花嫁として定められた。教会はキリストの花嫁である。神が定められた結婚は、一夫多妻制ではなく「ふたりは一体となる」(エペソ 5:31)であるが、では、多数いる私達と、キリストとの関係は、どういう関係なのか。キリストの元の「一つ体」は、十字架上で裂かれた。その裂かれたキリストのからだに与るように、聖餐が制定された。『わたしたちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血にあずかることではないか。わたしたちがさくパン、それはキリストのからだに与ることではないか。パンが一つであるから、わたしたちは多くいても、一つのからだなのである。みんなの者が一つのパンを共にいただくからである。』(1コリント 10:16-17) 私達一人一人はおのおの、キリストのからだの各器官である、と書いてある。(1コリント 12:27) つまり、キリストを受け入れた人々が、キリストの裂かれた肉である聖餐のパンと共にあずかる事によって、各々がキリストの一つからだである教会に組み入れられ、キリストと一つとなるのだ。

私達がキリストと「一つからだ」になるからには、キリストは、自分のからだを愛するように私達を愛して下さい。誰も自分のからだを憎んだ者はいない。かえって、これを養い育てる。キリストは教会をそうされたのだ。この事が記されているエペソ5章には、妻と夫に対する命令が書いてあるが、その実体は「キリストと教会」である。『キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられた…キリストがそうなされたのは、水で洗うことにより、言葉によって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、また、しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく、清くて傷のない栄光の姿の教会を、ご自分に迎えるためである。』(エペソ 5:25-27) 花婿は花嫁を愛し、きれいにし、飾るように、キリストもまた、罪で汚れた私達を洗い清めるために、ご自身のいのちを投げ出され、ご自身の血をもって私達を洗い清め、あらゆる良きもので飾って下さる。

結婚の本質は、「花婿なるキリスト」と、「花嫁である教会」の結婚である。それ故、聖書の最初に結婚が定められ(創世記)、そして聖書は、キリストと教会(新エルサレム)の結婚で終わる。(黙示録) 人は元々、万物の源なる御子キリストの結婚する相手として創られていたにもかかわらず、人は御言葉に逆らい、神に反逆し、罪と死が導入されてしまった。本当なら、花嫁から除外され、捨てられても仕方ない存在となってしまったにもかかわらず、神は人を捨てる事なく、いのちを投げ出してでも救おうとされた。主は、罪に陥って死ぬ以外に無いような私達を血潮で洗い、贖いの衣で包み、「生きよ」と言って下さった。『わたしは着物のすそでああなたをおおい、あなたの裸をかくし、そしてあなたに誓い、あなたと契約を結んだ。そしてあなたはわたしのものとなったと、主なる神は言われる。そこでわたしは水でああなたを洗い、あなたの血を洗い落して油を塗り、縫い取りした着物を着せ、皮のくつをはかせ、紐布をかぶらせ、絹のきれでああなたをおおった。』(エゼキエル 16:8-10) 主は私達を愛する故、生かすために、ご自身の血潮をもって私達の罪を洗い清め、贖いの衣の中に入れられた。私達は御腕の中に包まれ、愛される者となった。主は、買い戻しの権利者であり、聖なる衣のすそを広げ、この卑しい者を覆って下さった。私達はその主の一方的な愛に、ただただひれ伏して感謝するのみである。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30~
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:30~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube